

泉自然公園 さくら 案内マップ



泉自然公園の桜について

本園で鑑賞できる主な桜です。(現在調査中のため今後訂正することがあります。)

＜品種＞ 19 種(野生種 9、栽培種 10)

＜本数＞ 約 1500 本

・早春: カワヅザクラ、マメザクラ、エドヒガン、シダレザクラ、ヨウコウ、ピンククラウド、トウカイザクラ、チョウジザクラ

・盛春: ソメイヨシノ、ヤマザクラ、オオシマザクラ、ヤエベニシダレ、オオヤマザクラ

・晩春: チシマザクラ、カスミザクラ、カンザン、フゲンゾウ、カマタリザクラ、ウワミズザクラ* *ウワミズザクラ属

＜顕彰＞ さくら名所 100 選の地(1990)

泉自然公園のサクラ

本園のサクラ(サクラ属)は自生と植栽のものがあるが、自生種はヤマザクラ、ヤブザクラ、ウワミズザクラの3種のみ(*1)であり、その他はすべて植栽したものである。

開園(1969)のから現在(2014)までに植栽されたサクラは、42種類(*2 最終頁)であることが過去の記録等により判明した。2015年の調査の結果、その生育が確認されたのは22種であり、記録数の約半数であった。今後、詳細な調査を行うことにより品種数が増える可能性が考えられる。

本園に生育するサクラは約1500本であり、数が多いのはヤマザクラ(860)、ソメイヨシノ(240)、オオシマザクラ(240)、サトザクラ(90)などである。この図鑑では22種のうち主な18種を載せた。

*1 泉の自然第1号(1972 浅野貞夫)



ヤマザクラ(山桜) 野生種

本州、四国、九州、東北の一部に分布。温暖な気候を好み、低山や丘陵に多い。

西日本では最も一般的な野生のサクラで、昔から奈良の吉野山など花の名所があった。

花と同時に葉が開き、赤い若葉と白い花のコントラストが美しく、古来より詩歌に多く歌われている。

花期:4月上旬、ソメイヨシノ(以下「ソメイ」よりやや遅い)



オオシマザクラ(大島桜) 野生種

伊豆～房総の海岸沿いに多く分布する。薪炭材や園芸品種の台木として栽培され、各地で野生化したものがみられる。里桜(園芸品種)の母種とし多く用いられる。

花は大型の白色で緑色の葉と同時に咲き、香りが良い。萼の縁に鋸歯が目立つ。葉は塩漬けにして桜餅を包むのに用いる。

花期:4月上旬、ソメイよりやや遅い



エドヒガン(江戸彼岸) 野生種

本州、四国、九州に広く分布する。性質が強く長寿なので各地に巨樹古木として残っている。

花は春の彼岸の頃、葉が出る前に開くので「ヒガンザクラ」の名で親しまれている。ソメイヨシノの一方の親として有名。

萼筒は壺形で、基部が玉のように膨れた独特の形をしている。

花期:3月下旬 ソメイより早い



カスミザクラ(霞桜)野生種

北海道から本州・四国および朝鮮半島に分布。小花柄や葉柄に毛がある場合が多くケヤマザクラ(毛山桜)とも呼ばれる。和名は新緑の中でたなびく霞のように咲くことから。

花は白色～淡紅色で一重咲きの中輪。緑～茶色の葉が花と同時に開く。

花期:4月中旬 山桜より遅い



オオヤマザクラ(大山桜)野生種

北海道・本州・四国に分布。北海道の代表的な桜であり、エゾヤマザクラ(蝦夷一)、ベニヤマザクラ(紅一)の別名がある。和名は花がヤマザクラより大きいことから。

花は淡紅色～紅紫色で一重咲きの中輪。葉よりやや早く花が開く。若葉は赤みを帯び、鱗片に粘りがある。

花期:4月上旬 ソメイとほぼ同じ



チョウジザクラ(丁子桜)野生種

東北の太平洋側、関東、中部地方の山地に多く分布。4m内外の落葉小高木。近縁種に、日本海側に分布するオクチョウジザクラがある。

花弁が小さく萼筒が太く長い花の形から、丁子を連想させることが名の由来。

花が小さく地味なのであまり栽培されない。

花期:3月下旬 ソメイより早い



マメザクラ(豆桜)野生種

富士・伊豆・房総等に多く分布し、別名フジザクラ、ハコネザクラとも呼ばれる。和名は小形の桜の意で樹高は3～5m。変種に日本海側に分布するキンマメザクラがある。

花は白～淡紅色で、径1.5cmと小型。全体が小型で若木から花をよくつけるので、庭木や鉢植えとして栽培される。

花期:3月中～下旬 ソメイより早い



チシマザクラ(千島桜) 野生種

千島列島に分布するもので、タカネザクラの変種とされる。はじめ千島列島のエトロフ島から採取されたので「択捉桜」ともよばれる。タカネザクラとは小花柄や萼筒・葉面・葉柄などに毛が多い点から区別される。樹高は2～3m。

花は白～淡紅色で、径 1.6～2.6cm。葉は縁に深くとがった重鋸歯がある。

花期：4 月上旬 ソメイとほぼ同じ



ソメイヨシノ(染井吉野) 栽培種

最も広く栽培される日本の桜の代表品種。九州から北海道南部に至る各地域で、桜の開花予想の対象となっている。生長が早く満開や散り際が見ごとなのが人気で全国に広まった。

江戸末期に江戸染井町の植木屋が吉野桜として売り出した。最近の遺伝子解析の結果、エドヒガンとオオシマザクラとの交配種とされる。

花期：4 月上旬



ベニシダレ(紅枝垂) 栽培種

エドヒガンのうち枝の生長が早く下向きに垂れる栽培種。一名、イトザクラ(糸桜)。花が紅色のものをベニシダレといい、花弁は細長い卵形で内側に巻くのが特徴。

特異で優美な樹形のため古くから社寺等に植えられ、各地に巨樹・古木が残る。

花期：4 月上旬 ソメイよりやや早い



ヤエベニシダレ(八重紅枝垂) 栽培種

エドヒガンのうち枝が下向きに垂れ、花が色濃く八重咲きになった栽培種。

花弁は 15～20 枚、楕円形でややねじれ平開しない。花色が濃紅紫から淡紅紫へ変化する。遠目には 5 分～7分咲きの頃に最も濃くなる。

花期：4 月中旬 ソメイよりやや遅い。シダレザクラや八重ベニシダレより遅い



ヨウコウ(陽光) 栽培種

アマギヨシノ(オオシマザクラとエドヒガンの交配種で広義のソメイヨシノ)とカンヒザクラの交配種で 1981 年に作出。

花は径 20mm の一重で濃紅色。大輪で色の濃い花を多くつけ華やかなため、近年、各地の公園などに植えられている。

早咲きの類似種にオカメ、カワツザクラがある

花期:3 月下旬 ソメイより早い



ピンククラウド(Pink Cloud) 栽培種

南カリフォルニアのハティントン植物園で発見されたもので、カンヒザクラと他種の交雑種と考えられる。

花は一重の大輪で濃紅色。

早咲きの類似種に、ヨウコウ、オカメ、カワツザクラなどがある

花期:3 月下旬 ソメイより早い



カワツザクラ(河津桜) 栽培種

1955 年に静岡県河津町で発見された早咲き品種。カンヒザクラとオオシマザクラの自然交雑種と推定される。近年、早咲きの桜として人気があり各地に植栽されている。

花は一重の大輪・淡紅紫色で、花弁に色むらと脈がある。開花に時間差がかなりあるため、全体として花期が長い。

花期:2月下旬～3月上旬 ソメイよりかなり早い。



トウカイザクラ(東海桜) 栽培種

マメザクラとカラミザクラ(唐実桜)の種間雑種の栽培品種。福岡県で生まれた啓太郎桜の実生を、兵庫県の和農園が選抜して生まれたとされている。山形県や富山県では切花として栽培されている。

花は一重の小輪・淡紅紫色で、花弁に縦方向のしわが目立つ。カラミザクラの特徴を引き継ぎ、幹に気根が発生し、花に甘い芳香がある。

花期:3月中旬～下旬 ソメイよりかなり早い。



カンザン(関山) 栽培種

東京の荒川堤から広まったといわれる栽培品種。大島桜系の園芸品種をサトザクラと総称するが、本種は里桜の最も代表的な品種であり、ソメイヨシノに次いで多く栽培される。

病気や大気汚染に強く生長も早いいため、各地の公園や街路に広く植栽されている。

花弁は 25～50 枚、花は濃紅紫色で葉とほぼ同時に開く。葉は日を置くと芳香が強くなる。

花期：4 月中～下旬 ソメイヨシノより遅い。



フゲンゾウ(普賢象) 栽培種

京都市上京区千本閭魔堂にあったといわれ、室町時代から伝わる里桜。和名は 2 本ある葉化した雌しべが、普賢菩薩が乗る白象を連想させることによる。

里桜の代表的な品種。性質が強く大木になる。花弁は 30～50 枚、花は淡紅色で葉とほぼ同時に開く。

花期：4 月中旬 ソメイヨシノより遅い。



イチヨウ(一葉) 栽培種 ※現在はありせん

東京の荒川堤にあった栽培品種で、関東地方を中心に広まった里桜。和名は葉化した雌しべが 1 本だけ突きでて見えることによる。

里桜の中でも大きく生長する。花弁は 20～35 枚、花は淡紅白色で葉とほぼ同時に開く。

花期：4 月上～中旬 ソメイヨシノよりやや遅い。花が大きな八重咲き種の中では花期が早い。



ウワミズザクラ(上溝桜) 野生種

バラ科ウワミズザクラ属の落葉高木。全国各地の山野に自生し、公園や庭にも植えられる。古名は‘ハハカ’。

サクラ属の花序の多くは散系状か散房状だが、本種は‘総状花序’。花は葉が出てから、長さ 6～8cm の花序に白い小花が多数蜜に開く。

花期：4 月中～下旬 ソメイヨシノより遅い。

ウワミズザクラ属とする分類もある。

【泉自然公園のサクラ】

	品 種 名	花 形	花 色	花 期	場 所	2014 確 認*1
1	イチヨウ	八重	淡紅白	4月上中旬	草原奥	○
2	イトザクラ	一重	白	4月上旬	一本松	○
3	イヌザクラ	一重	白	4月下旬	お花見	○
4	ウワミズザクラ	一重	白	4月中下旬	各所	○
5	エドヒガン	一重	白～淡紅	3月下旬	花木	○
6	オオシマザクラ	一重	白	4月上旬	各所	○
7	オオヤマザクラ	一重	淡紅～紅紫	4月上旬	草原中程	○
8	カスミザクラ	一重	白	4月中下旬	草原中程	○
9	カワヅザクラ	一重	淡紅紫	2月下3月上旬	花木	○
10	カンザン	八重	濃紅紫	4月中下旬	花見、草原	○
11	センダイシダレ	八重	淡紅	4月中旬	草原奥	○
12	ソメイヨシノ	一重	淡紅白	4月上旬	各所	○
13	チシマザクラ	一重	白～淡紅色	4月上旬	草原奥	○
14	チョウジザクラ	一重	白	3月中下旬	草原手前	○
15	ピンククラウド	一重	淡紅紫	3月中旬	草原奥	○
16	トウカイザクラ	一重	淡紅紫	3月中旬	事務所裏	○
17	フゲンゾウ	八重	淡紅	4月中旬	花見、草原	○
18	ベニシダレ	一重	紅紫	3月下旬	一本松	○
19	マメザクラ	一重	白～淡紅白	3月中旬	花見、見晴台	○
20	ヤエベニシダレ	八重	淡紅紫	4月中旬	花見、一本松	○
21	ヤマザクラ	一重	白～淡紅白	4月上中旬	各所	○
22	ヨウコウ	一重	濃紅紫	3月中旬	花見	○
23	カンヒザクラ	一重	濃紅	3月上中旬	花見	×消滅
24	ヤブザクラ	一重	白	4月上旬	駐車場奥	×消滅
25	イモセ	八重	淡紫紅	4月中下旬	？	？
26	ウコン	八重	淡黄緑	4月上中旬	？	？
27	オモイガワ	半八重	淡紅紫	4月上旬	？	？
28	カンザクラ	一重	淡紅	2月下3月上旬	？	？
29	ギョイコウ	八重	黄緑	4月中下旬	？	？
30	クマガイザクラ	八重	淡紅白	3月上中旬	？	？
31	サイトウザクラ	一重	淡紅白	4月上旬	？	？
32	ジュウガツザクラ	八重	淡紅	10~12月/3月下旬	？	？
33	ショウゲツ	八重	淡紅	4月中旬	草原奥	？
34	シロタエ	八重	白	4月中旬	？	？
35	スルガダイニオイ	半八重	白	4月中旬	？	？
36	センリコウ	半八重	白	4月上中旬	？	？
37	タオヤメ	半八重	淡紅白	4月中旬	？	？
38	タカサゴザクラ	八重	淡紅白	4月上旬	？	？
39	ヒガンザクラ	一重	淡紅	3月下旬	？	？
40	フジザクラ	一重	白	3月中旬	？	？
41	フルサトザクラ	一重	淡紅	3月上旬	？	？

	品 種 名	花 形	花 色	花 期	場 所	2014 確 認*1
42	ミクルマガエシ	半八重	淡紅紫	4 月中旬	？	？
43	ミヤマザクラ	一重	白	5 月上旬	？	？
44	ミヨウショウジザクラ	一重	淡紅白	3 月中旬	？	？

* 1 ○生育確認 ×消滅確認 ？未確認